

特別展「地球…生きてる大地…」への招待

赤羽久忠

科学文化センターでは、来る7月20日(土)から10月6日(日)まで、特別展「地球…生きてる大地…」を開催します。これは、地球＝大地のさまざまな活動を紹介することによって、ふだんの生活では見たり体験したりすることの少ない地球の姿を理解していただくというものです。

各コーナーとその内容は、およそ次のようになっています。

◎地球の生成と隕石・流星刀—富山県初公開!!

約46億年あまりも昔の話、いままさに地球が生成されています。

大小の隕石(微惑星)同志がお互いに衝突しています。小さい微惑星の場合はその勢いで粉々に分裂しますが、大きいものは合体しさらに大きくなっていきます。気の遠くなるような分裂と合体の繰り返し——その中から徐々に地球が生成されていきます。その時の様子がドラマチックに再現されます。

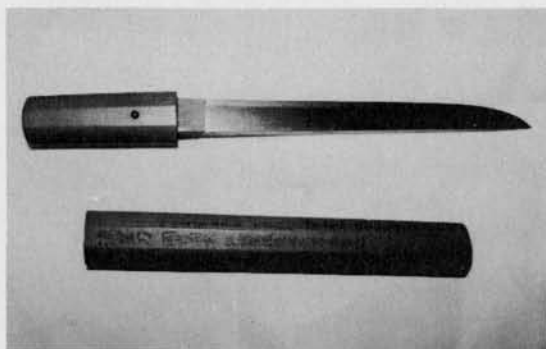
宇宙空間にポツカリと浮かぶ青い地球、それを造ったのは、いろいろなタイプの隕石だったのです。そのことから、現在地球に落ちてくる隕石を調べることによって、46億年前にできた地球の起源を探ることができます。まさに隕石は、地球自身の生成の謎を探る手がかりを運ぶ宇宙からの使者なのです。

このような隕石がかって富山県にも落ちました。それが発見されたのは、明治23(1890)年のことで、落ちた場所は上市町白萩という所で、白萩隕石と名づけられました。これは、隕石のなかでも重くて鉄やニッケルの多いもので、「隕鉄」と呼ばれています。白萩隕鉄には、1号と2号があり、1号隕鉄はその一部で長刀2刀、短刀3刀、合計5刀の日本刀が造られました。明治政府の重鎮、榎本武揚によるものです。それらは空から降って来た星で造った刀——「流星刀」と名づけられました。

その内の短刀1刀を所有者である榎本武揚氏の

ご好意で展示することができるようになりました。白萩1号隕鉄は実物が東京の国立科学博物館に展示してあります。今回の特別展では、その模型を展示します。

多くの方々の協力で、今回始めて「富山に落ちた隕鉄で造った流星刀を富山で展示する」ことができることになりました。



第1図：白萩1号隕鉄で造った流星刀（短刀）

◎大地の怒り——火山活動

日本は世界でも有数の火山国で、地球上の活火山約800の内67が集中しています。いろんな火山の噴火にはどんなものがあるのでしょうか。いろんなタイプの火山噴火を大型のスクリーンで疑似体験してみましょう。

立山火山の噴火は数十万年余り前にはじまり、最後に溶岩を噴出したのはほぼ4万年前であるということです。それ以降はあまり激しい噴火はありませんでしたので、富山の人々が火山の噴火におびえたり、逃げまどったりしたという記録はありません。

しかし、現在の立山火山を見てみると、地獄谷や立山カルデラの中では高温の温泉水や蒸気、イオウなどが噴出しております。このことは、立山火山の地下がまだかなり高温の状態であることを示しているものと思われます。立山火山は噴火する可能性があるのでしょうか？

これらのことについても考えてみましょう。

◎揺れる大地——地震

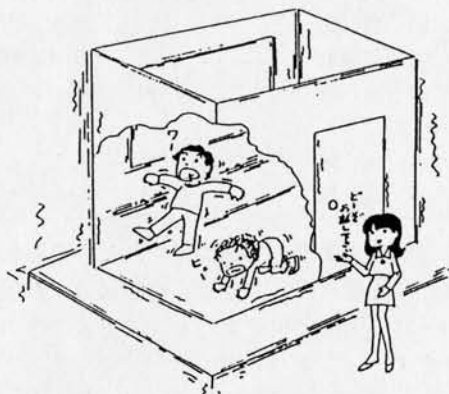
日本は有数の地震国でもあります。地球上で起きた地震の内、約10%の地震が日本および日本近海で起こっています。



第2図：地獄谷の硫黄と水蒸気の噴出

一方で、ほぼ日本の中心にある富山については、地震のない県だとよくいわれます。これは本当でしょうか？

今から130年くらい前の安政5年には、「安政地震」とか「飛騨地震」と呼ばれる大変大きな地震が富山を襲ったことはよく知られております。当時の古文書によれば、富山城の石垣が崩れたり、橋が落ちました。また、地震によって立山の大鷲山・小鷲山が崩壊して湯川をせき止め、それが後に崩れて鉄砲水が下流地域を襲い、大変大きな被害があったそうです。さらにさかのぼって、今から400年余り前の天正13(1585)年には「木船地震」と呼ばれる大地震がありました。岐阜県白川村の帰雲城が金銀財宝とともに土石に埋められてしまった？のもこの時です。



第3図：体験してみよう!!

このように考えてみると、富山県でこれからもずっと地震がないとはい言切れません。むしろ、これらの災害はいつか必ずやってくると考えるべきでしょう。

そこで、地震がどんなものか体験できるコーナーをつくりました。いざという時あわてないように、ぜひ一度お試し下さい。

◎自然の戯れ——珍しい鉱物・岩石

地球の活動は、その過程で時々奇妙な足跡を残します。その中には、私たちの生活の中で体験するものとずいぶん違った性質を示すものがあります。珍しい岩石や鉱物のいくつかを紹介します。



第4図：人工水晶の結晶

たとえば、石は固いものと思っている方、グニャグニャと曲がる石もあるんですよ!! また、白い石だと思って見ていたら、突然赤や緑に輝き出す石もあるんです。そのほか、天然の磁石になっていてクリップや釘をすいつける石や、美しい音を出す石などもあります。

このほか、立山連峰や黒部峡谷をヘリコプターで撮影した映像をみたり、鍾乳洞の中を歩くコーナーやプレート運動の原因を考えるコーナーもあります。

この特別展では、たくさんの珍しい体験をして、たくさんの珍しい物を見て、まさに生きた地球の姿を実感できるように工夫しました。

美しく静かな地球、激しく怒り狂った地球、どちらも本当の地球の姿なのです。あなたも地球のさまざまな姿を探検しに来ませんか？

(あかはね ひきただ

科学文化センター専門学芸員)